



Q 小学5年の娘は友達とよく遊びに出かけますが、家ではあまり話さなくなりました。反抗期ですか？

A 友達関係が強くなる頃ですが、まだ親の手の中にいます。じっくり話に耳を傾けるなど心配りしましょう。

成長の証し

高学年の子供がよそよそしくしたり、口答えしたりするようになる、親は戸惑ってしまいますね。子供が離れて行くような不安を感じるかもしれません、それは子供の成長の証しでもあるのです。

個人差はありますが、女子は男子よりも早く、小学校高学年から自立期・思春期に入ります。友達との付き合いで社会性が育つ時期ですから、手を離して活動範囲を広げてあげましょう。ただ思春期はトラブルや危険もありますので、関心を持って

見守りましょう。サルの子育てで、親ザルは遠くから子ザルを見守り、何かあるとすつ飛んでいきますが、人間の子育てにも参考になります。

育て直しと育ち直し

友達関係は男子より女子のほうが、トラブルが起こりやすいのです。女子グループは結束が強すぎると、排他性が強くなります。グループの結束を維持するために、だれかを除け者にして同一性を維持しようとする心理が働いたりします。

女子同士で仲良くしているように見えて、実はそうでない場

合もありますから、普段から関心を持って様子を見たり、一緒にショッピングに出かけるなどして、一対一の関係を作るようにするといいでしょう。

思春期に入ると、親も大変な思いをすることがあります。小学校までの時期に親子関係ができていたことが望ましいのですが、そうでない場合、この時期がもう一度、親子関係を結び直すチャンスでもあります。

子供の話にじっくり耳を傾けるとともに、親の考えは何度でも繰り返し伝えましょう。また温かい食事や寝具への心配りも大切な親の愛情表現です。